



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会（略称 連合山梨）

No.380 2023.2.3

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

連合山梨 2023春季生活闘争(要旨)

連合山梨は、1月12日（木）に開催した第16回執行委員会において、闘争委員会を設置するとともに「2023春季生活闘争方針」を決定しました。今後、各組織の力を合わせて取り組みを進めていきます。

スローガン

くらしをまもり、未来をつくる。

I 取り巻く情勢（略）

II 取り組みの基本的考え方

1. 2023春季生活闘争の基本方針

連合山梨2023闘争における基本方針として、連合本部の基本的考え方に基づき、①賃上げ、②働き方の改善、③政策・制度の取り組みを3本柱として、感染症対策をはかりながら景気を安定的に回復させつつ、中期的に分配構造を転換し「働くことを軸とする安心社会」の実現への道を切り拓いていく。

(1) 賃金要求に対する考え方

国際的に見劣りする日本の賃金水準を中期的に引き上げていく必要がある。90年代後半以降、わが国の実質賃金が上がっていない一方、主要国は年1～2%ずつ上昇し、その結果、賃金水準の相対的位置が低下している。わが国全体の生産性は、コロナ禍による稼働率の低下などの影響はあるものの実質1%弱伸びており、生産性の中期トレンドを考慮した賃上げを継続的にを行い、賃金水準の回復をめざす必要がある。

また、わが国の賃金水準は、依然として1997年時点の水準を回復していない。2014年以降の賃上げで名目賃金は緩やかな上昇に転じたものの、物価を加味した実質では停滞している。2022年度においては消費者物価が2%を超え実質賃金はマイナスで推移している。賃金が物価に追いつかない状況が長く続けば、内需の6割を占める個人消費（約300兆円）が落ち込み、世界経済の減速とあいまって深刻な不況を招くおそれがある。マクロ的には物価を上回る可処分所得増をめざす必要がある。「分配構造の転換につながり得る賃上げ」という視点も重要である事を認識しなければならない。

したがって、連合は、月例賃金について、産業相場や地域相場を引き上げていく「底上げ」のための「上げ幅の指標」と、「格差是正」と賃金の「底支え」を念頭においた「水準の指標」の目安を示すこととする。

<「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方>

	目的	要求の考え方
底上げ	産業相場や地域相場を引き上げていく	定昇相当分+賃上げ分 (→地域別最低賃金に波及)
格差是正	企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する	・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に努める
底支え	産業相場を下支えする	企業内最低賃金協定の締結、水準の引き上げ (→特定（産業別）最低賃金に波及)

III 具体的取り組み

1. 賃上げ要求

(1) 月例賃金

すべての組合は、定期昇給相当（賃金カーブ維持相当）分（2%）の確保を大前提に、産業の「底支え」「格差是正」に寄与する「賃金水準追求」の取り組みを強化しつつ、それぞれの産業における最大限の「底上げ」として3%のベースアップに取り組む。最終的に定期昇給相当分2%を含めた5%の賃上げをめざす。同時に、企業内で働くすべての労働者の生活の安心・安定と産業の公正基準を担保する実効性を高めるため、企業内最低賃金の協定化に取り組む。

なお、取り組みにあたっては、企業内最低賃金協定が特定（産業別）最低賃金の金額改正に強く寄与することも踏まえる。

(2) 具体的な要求目標

具体的な要求指標は、下表のとおりとする。

<賃金要求指標パッケージ>

底上げ	各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点とすべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ分を3%程度、定昇相当分（賃金カーブ維持相当分）を含む賃上げを5%程度とする。	
	規模間格差是正	雇用形態間格差是正
格差是正	目標水準 35歳：290,000円 30歳：261,000円	・昇給ルールを導入する。 ・昇給ルールを導入する場合は、勤続年数で賃金カーブを描くこととする。 ・水準については、「勤続17年相当で時給1,750円・月給288,500円以上」となる制度設計をめざす。
	最低到達水準 35歳：266,250円 30歳：243,750円 企業内最低賃金協定1,150円以上	企業内最低賃金協定1,150円以上
底支え	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、「時給1,150円以上」をめざす。	

1) 中小組合の取り組み（規模間格差是正）

①多くの中小企業は、物価高騰のもとで収益が圧迫され、同時に人手不足に直面している。その中で格差是正を前進させることが課題である。「II. 2023春季生活闘争取り組みに向けた基盤整備」を前提に、賃上げに取り組む。

②賃金カーブ維持分は、労働力の価値の保障により労務意欲を維持する役割を果たすと同時に、生活水準保障でもあり必ずこれを確保する。賃金カーブ維持には定期昇給制度が重要な役割を果たす。定期昇給制度がない組合は、人事・賃金制度の確立を視野に入れ、労使での検討委員会などを設置して協議を進めつ

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目3-16 センティアホテル内藤敷地内 2F
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189 (仮事務所)

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 田中 好 久

Facebook
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



- つ、定期昇給制度の確立に取り組む。構成組織と地方連合会は連携してこれらの支援を行う。
- ③すべての中小組合は、上記にもとづき、賃金カーブ維持相当分（1年・1歳間差）を確保した上で、自組合の賃金と社会横断的水準を確保するための指標を比較し、その水準の到達に必要な額を加えた総額で賃金引き上げを求める。また、獲得した賃金改善原資の各賃金項目への配分等にも積極的に関与する。
- ④賃金実態が把握できないなどの事情がある場合は、連合加盟中小組合の平均賃金水準（約25万円）と賃金カーブ維持分（1年・1歳間差）をベースとして組み立て、連合加盟組合平均賃金水準（約30万円）との格差を解消するために必要な額を加えて、引き上げ要求を設定する。すなわち、賃金カーブ維持分（4,500円）の確保を大前提に、連合加盟組合平均水準の3%相当額との差額を上乗せした金額9,000円を賃上げ目標とし、総額13,500円以上を目安に賃上げを求める。

2) 雇用形態間格差是正の取り組み

- ①有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保の観点から、企業内のすべての労働者を対象とした企業内最低賃金協定の締結をめざす。締結水準については、時給1,150円以上をめざす。
- ②有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、昇給ルールの導入に取り組む。なお、昇給ルールを導入する場合は、勤続年数で賃金カーブを描くこととし、水準については、「勤続17年相当で時給1,750円・月給288,500円以上」となる制度設計をめざす。

(3) 男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正

男女間における賃金格差は、勤続年数や管理職比率の差異が主要因であり、固定的性別役割分担意識等による仕事の配置や配分、教育・人材育成における男女の偏りなど人事・賃金制度および運用の結果がそのような問題をもたらしている。

改正女性活躍推進法にもとづく指針には「男女の賃金の差異」の把握の重要性が明記された。これに加え、女性活躍推進法の省令が改正され、301人以上の企業に対して「男女の賃金の差異」の把握と公表が義務づけられた。これらを踏まえ、企業規模にかかわらず男女別の賃金実態の把握と分析を行うとともに、問題点の改善と格差是正に向けた取り組みを進める。

- 1) 賃金データにもとづいて男女別・年齢ごとの賃金分布を把握し、「見える化」（賃金プロット手法等）をはかるとともに、勤続年数なども含む賃金格差につながる要因を明らかにし、問題点を改善する。
- 2) 生活関連手当（福利厚生、家族手当等）の支給における住民票上の「世帯主」要件は実質的な間接差別にあたり、また、女性のみ住民票などの証明書類の提出を求めることは男女雇用機会均等法で禁止されているため廃止を求める。

(4) 初任給等の取り組み

- 1) すべての賃金の基礎である初任給について社会水準を確保する。
- 2) 中途入社者の賃金を底支えする観点から、年齢別最低到達水準についても協定締結をめざす。

(5) 一時金

- 1) 月例賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含め水準の向上・確保をはかることとする。
- 2) 有期・短時間・契約等で働く労働者についても、均等待遇・均衡待遇の観点から対応をはかることとする。

2. 「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

- (1) 長時間労働の是正
- (2) すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み
- (3) 職場における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み
- (4) 人材育成と教育訓練の充実
- (5) 60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み
- (6) テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み
- (7) 障がい者雇用に関する取り組み
- (8) 中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備
- (9) 短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大に関する取り組み
- (10) 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

3. ジェンダー平等・多様性の推進

- (1) 改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- (2) あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- (3) 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- (4) 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

Ⅳ 運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」

- 1) 現下の経済・社会情勢を踏まえた2023年度予算編成と2023年度税制改正実現の取り組み（税による所得再分配機能の強化、「給付付き税額控除」の仕組み構築など）
- 2) 価格転嫁や取引の適正化につながる諸施策の実効性を高める取り組み
- 3) すべての人が安心して働き暮らせるよう、社会保障制度の充実・確保に向けた取り組み（年金、医療・介護、子ども・子育て支援など）
- 4) すべての労働者の雇用の安定・人への投資拡充に向けた取り組み
- 5) あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- 6) 学校職場における教職員の負担軽減の取り組み

Ⅴ 闘いの進め方

1. 連合山梨は第16回執行委員会において窪田会長を本部長とする連合山梨闘争委員会を設置するとともに、本執行委員会を第1回闘争委員会として本格的な春闘への取り組みを開始する。
2. 県内が交渉組合となる中小・地場を中心とした構成組織を積極的に支援するため、連合山梨中小対策委員会に「中小共闘センター」を設置し、闘争期間中の限定的な共闘機関として対象産別で構成された委員を中心に情報交換・地域共闘などに努め、交渉力強化を図る。
3. 春闘要求書は原則として2月末まで、遅くとも3月末までには提出する。なお、前段交渉を強化し、回答・妥結については原則として3月、遅くとも4月内決着を目指した交渉を展開する。
※3月を中小・地場組合の解決促進のヤマ場と設定し、早期妥結を進める取り組みを強化する。
4. すべての構成組織は賃金の絶対値にこだわり、賃金実態の把握に基づく「最低到達水準」のクリアを目指すとともに、産別の設定した「到達目標水準」に向けた闘争強化を進める。
5. 雇用形態間格差の是正に向けてすべての働くものの処遇改善と均等待遇を目指して闘争を展開することとし、有期・短時間・契約等で働く労働者に対する取り組みを強化し、構成組織はその機能を最大限に発揮させる。
6. 中小共闘センターは連合リビングウエッジにて示された地域ミニマム水準が地域の中小・地場組合の交渉の指標として機能するよう対象産別と連携し、情報提供や意見交換を行うなど情報の共有を図り格差是正に向けて取り組む。
7. 官公労働者の取り組みについては労働法の適用外となる雇用者の労働条件課題に積極的に取り組むとともに、官公部門連絡会を中心にすべての働くものの処遇改善に向け、官民労組が連携した行動を展開していく。
8. 連合山梨は春季生活闘争に対する意識を高める行動として学習会や決起集会を開催する、また、すべての働く人に「春季生活闘争」のメカニズムや2023闘争の意義と目的を周知するとともに、暮らしの「底上げ」「底支え」「格差是正」に関するテーマを広く社会に浸透させる。

Ⅵ 主な行動について

月 日	行 動 内 容
1月12日(木)	連合山梨第16回執行委員会 ★第1回闘争委員会
2月 3日(金)	連合山梨第17回執行委員会 ★第2回闘争委員会 ★春闘セミナー＆闘争開始宣言集会（ジッパザ 甲府ｽﾃｰｼﾞﾎｰﾙ）
2月24日(金)	山梨労働局・経済団体要請行動
3月 3日(金)	連合山梨第18回執行委員会 ★第3回闘争委員会 ★2023春季生活闘争総決起集会（ジッパザ 甲府ｽﾃｰｼﾞﾎｰﾙ）
3月下旬	中小共闘センター・組織拡大委員会 合同主要駅頭行動 連合山梨 構成組織訪問活動《3～6月 連合山梨対話月間》
4月 6日(木)	連合山梨第19回執行委員会 ★第4回闘争委員会
5月10日(水)	連合山梨第20回執行委員会 ★第5回闘争委員会

1
5
TUE

連合山梨2023新春交歓会

すべての働く者の力を結集し、前へ進もう！



連合山梨は1月5日（木）、甲府市総合市民会館芸術ホールにおいて、構成組織の代表ならびにご来賓を合わせた約120名参加のもと、2023新春交歓会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策として今年も参加者を三分の一に制限し、今回で3度目となる縮小形式で執り行いました。

オープニングセレモニーでは、天野流阿羅漢による和太鼓と津軽三味線奏者による新年のスタートに相応しいコラボ演奏が行われました。その後、主催者を代表して窪田会長は、2023春季生



活闘争の取り組みについて「社会全体での質上げに向けた環境作り、すべての働く人の雇用と生活を守る政策の実現、地域での支え合いを進めていかなければならない」と訴えました。そして、統一地方選挙においては、構成組織が擁立する候補者全員の必勝に向けての団結を掲げ「皆さんの力を結集し、前へ進んで行きましょう！」と参加者に呼び掛けました。

続いて、渡邊和彦山梨県副知事、樋口雄一甲府市長、生方勝山梨労働局長、佐々木宏明山梨県経営者協会会長など9名のご来賓からご祝辞を賜りました。そして、和やかなムードの中で恒例のお楽しみ抽選会が行われ、各賞の当選者が発表される度に会場から拍手が沸き起こる盛り上がりを見せました。

最後に、坪井会長代行の音頭による一丁締めにて、新春交歓会を締めくくりました。

事務局長 田中 好久



1等当選！運輸労連 水上書記長

12
19
MON

「山梨フードバンクセンター」の開所式が行われました。



NPO法人「フードバンク山梨」は、2022年12月19日(月)南アルプス市に新たな物流拠点となる「山梨フードバンクセンター」を建設し、開所式に窪田会長が出席しました。

連合山梨は、結成30周年を迎えた2018年以降、継続してフードバンク山梨が呼びかけるフードドライブ活動に構成組織と連携して取り組んできました。

また、今回の新物流拠点の建設に対する寄付も実施しており、関係者とともに完成を祝いました。

今後も構成組織と連携を取って、食材収集や箱詰め作業といったボランティア活動への積極的な参加を行い、フードバンク山梨の活動を支援していきます。

副事務局長 大森 竜

当選御礼

皆様のご支援に感謝申し上げます

【甲府市長選挙】

2023年1月22日(日)投開票

ひぐち ゆういち
樋口 雄一氏
投票率 46.18%

当選 ひぐち 雄一 56,482 票
そうだ 記史 6,464 票
松井 ただひろ 5,912 票



山梨県知事選挙結果

2023年1月22日(日)投開票

投票率 52.29%

当選

長 崎 幸太郎 215,517 票

くらしま 清次 29,195 票

志 村 なおき 106,783 票

!!!くらしをまもり未来をつくる

【あしたを変える 連合緊急アクション】

街頭演説予定

2/13(月) 8:00～ 甲府駅前南口 窪田会長
 17:30～ 甲府駅前南口 白倉副会長
 2/14(火) 17:30～ フォレストモール富士河口湖付近(東側) 窪田会長
 2/15(水) 9:35～ 都留文科大前駅 窪田会長

街宣活動予定

2/13～2/17の間、山梨県内をラッピングカーと地協・連合山梨
 街宣車がそれぞれ巡ります。



▼特設サイトはこちら

https://www.jtuc-rengo.or.jp/kinkyu-action/



連合山梨会館(仮称)経過報告 No.14



小会議室



会議室



ホール

内装工事が着々と進められています。

『ヴァンフォーレ甲府! ホームゲームチケット』の抽選について

今年度も「ヴァンフォーレ甲府! シーズンシート(2席)」を年間契約しました。下記の要領で組合員の方に抽選でチケットを配布しますので、是非、お申込み下さい。

- ① リーグ戦期間 2023年2月18日(土)～11月12日(日)
- ② 観覧可能試合 年間42試合の内、「21試合のホームゲーム」のみ
- ③ 枚数 毎試合「2席」(先行入場対象チケット)
- ④ 指定席箇所 メインスタンド B7列 102番・103番
- ⑤ 利用可能者 連合山梨の組合員と一親等のみ(組合員が必ず同行すること)
- ⑥ 申し込み方法 下記の三点にご留意のうえ、「チケット抽選申込書」にご記入いただき、連合山梨宛にご送付ください。

- ①申し込みは、試合観戦希望日2週間前の金曜日の午前中まで
- ②希望者多数の場合は厳選なる抽選を実施
※但し、過去に当選実績のある方は除外とします
- ③当選者のみにご連絡し、引き渡し方法を調整します

- ⑦その他 ※大切な組合費を使つての事業展開ですので、部外者への転用や親戚・友人等の利用はお断りします。

2023 明治安田生命J2リーグ ホームゲーム試合日程

●会場は J1Tリサイクルインクスタジアム です●

節	試合日時	対戦相手	節	試合日時	対戦相手
1	2/18(土) 13:05	モンテディオ山形	22	6/24(土) 18:00	ファジアーノ岡山
2	2/25(土) 13:00	徳島ヴォルティス	24	7/ 5(水) 19:00	ブラウブリッツ秋田
4	3/11(土) 13:00	藤枝MYFC	26	7/16(日) 18:00	サスパクサツ群馬
7	4/ 1(土) 13:00	清水エスパルス	29	8/ 6(日) 18:00	ツエーゲン金沢
8	4/ 8(土) 13:00	ベガルタ仙台	31	8/19(土) 18:00	ジュビロ磐田
10	4/16(日) 13:00	栃木SC	34	9/ 9(土) 未定	大分トリニータ
11	4/22(土) 14:00	FC町田ゼルビア	35	9/15(金)or 9/16(土)未定	東京ヴェルディ
13	5/ 3(水・祝) 14:00	いわきFC	37	9/29(金)or 9/30(土)未定	水戸ホーリーホック
15	5/13(土) 14:00	ジェフユナイテッド千葉	39	10/20(金)未定	Vファーレン長崎
18	5/27(土) 14:00	大宮アルディージャ	41	11/ 3(金・祝)未定	ロアッソ熊本
20	6/11(日) 16:00	レノファ山口FC			

●日程については ヴァンフォーレ甲府公式ウェブサイトをご覧ください

『ヴァンフォーレ甲府! ホームゲームチケット』抽選申込書

試合希望日	月 日 () 曜日
産別名	
単組名	
氏名	フリガナ
連絡先	日中、連絡の取れる電話番号をご記入下さい ☎ — —

ヴァンフォーレ甲府のホームゲームチケットをご希望の方は、枠内をご記入の上、連合山梨宛にご送付下さい。
 申し込みは、試合観戦希望日2週間前の金曜日の午前中までとなります。
 詳しくは上記①～⑦をご覧ください。

連合山梨

Fax 055-222-1189

info@yamanashi.jtuc-rengo.jp